平成27年度　社会福祉法人ながよ光彩会

法人本部　事業報告書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

社会福祉法人

ながよ光彩会

法人理念

私たち、社会福祉法人ながよ光彩会は、人のためにできること、地域のためにできること、社会のためにできることを念頭に、その人らしい人格と人権を尊重し、住み慣れた地域の中で安全で安心した豊かな〝かがやき〟のある暮らしの実現に向け、地域の方と共に考え、共に歩んで参ります

法人の運営方針

1．利用者およびそのご家族に対して、親切で、優しく、まごころをもって寄り添う、さりげない介護を目指します
2．明るい家庭的な雰囲気を大切にし、いつでもどこでも誰にでも感謝の気持ちで笑顔を絶やさない職場づくりに努めます
3．全ての職員が、安心して働ける環境を整え、良好な人間関係を築き、法人の使命を果たすための人材育成に努めます
4．地域の人々に共感と信頼を得られる社会福祉事業を行うことにより、地域の人々の希望と信頼に応え得る良好な施設運営を目指します
5．地域における福祉の〝拠り所〟として、関係機関と連携を密にとり、地域社会の持つ力を尊重し地域福祉の発展に寄与します

法人本部

法人本部では、次の事項を、平成27年度法人本部重点目標として掲げる

1．介護報酬改定への対応
2．法人本部（統括本部）の組織力アップ
3．VPN（Virtual Private Network）を活用した事務業務の効率化
4．3法人合同学会の開催

1．介護報酬改定への対応

【予定】

平成27年度改定における△2.27%への対応。

改定前後の収支比較をまとめ、3法人、8事業の事業計画を立案する。

前年度作成したキャリアパスを、処遇改善加算(Ⅰ)（特養の場合は5.9%）の条件を満たす内容とし、介護職員への支給（主に賞与として）計画を立案する。

また、法人内のキャリアパスを整備し、高卒、大卒の無資格の職員であっても、かがやき拠点における人材育成プログラムにおいて働きながら資格取得が行える環境を整えていく。

【結果】

当法人の事業計画については、事業計画書の通りであるが、平成27年度中に実施した施設長会（毎月10日）および、管理職研修においてその進捗も含めて意見交換する場を設け、職員参加型の事業運営に心がけている。

処遇も含めたキャリアパスについて、全職員に公開し、現在、ホームページ上での月収、年収のシュミレーションが行えるように整備を行っている。しかし、一方で平成27年度中に17名入職し13名が退職（退職者については開設時入社職員を含む）との結果もあり、職員定着が最大の課題となっている。

研修実績については、かがやき拠点からの報告にある通りだが、人員に余裕がない中でもどうにか参加出来ている。まずは職員の定着化を図り、計画にある研修の全てに参加出来るような環境整備を行っていく。

2．法人本部（統括本部）の組織力アップ

【予定】

「経営組織」、「事業管理」、「財務管理」、「人事管理」の４つの視点より社会福祉事業の着実な実施に向けて３法人を組織化する。

これには、統括本部職員のみならず、定期的に開催する管理職研修を通じて中堅職員の育成に努めると共に、拡大施設長会(仮)の開催をもって、ダイレクト・フラットな組織運営を目指す。

【結果】

管理職研修については前年度１回のみの実施にとどまった。管理職会議については毎月第１水曜日の開催とし運営できたが、事業運営に関する意見交換を行うに至っていない。本年度の事業計画において、年度目標の振り返りを毎月実施する事とし、前年度の改善を図る。また、平成28年度の３法人合同での管理職研修は年４回開催としている。

３．VPN（Virtual Private Network）を活用した事務業務の効率化

【予定】

かがやき内に設置したサーバーをメインサーバーとして、紙面書類のデータ化を図ると共に、かがやき、ぴーぷるに導入する電子カルテを通して、介護サービスの提供から国保連請求、利用者請求、口座管理までの一貫した業務をスリム化する。

上記によって、かがやき、ぴーぷる双方でのショートの空き状況が一元化出来るため、双方の生活相談員でベッドコントロールを行えるよう調整を行う。

また、拠点間の書類のやり取りについては、フォーマットを統一し、メールまたはクイックケアを通した決裁システムを確立する。

【結果】

中尾クリニックとのVPNについては4月6日に接続を開始。中尾医師の限られた時間の中での情報集約に役立っている。他法人との情報共有については、個人情報の観点からその運用を実施しない事とした。現在は、双方の生活相談員間で電話でのやり取りをメインとしてベッドコントロールを行っている。

決裁システムについても、会計処理の兼ね合いもあり、紙面ベースで行っている。本件については、会計ソフトの検討も含めて継続的に審議していきたい。

４．３法人合同勉強会・学会の開催

【予定】

3ヵ月に1回の合同勉強会を企画し、介護分野のみならず、さまざまな分野の講師を招致する。また、10月には3法人合同学会を開催する。

第1回大会のテーマは「物語の支援」。主にリーダー職が演者となり、今後、6ヵ月の間でそれぞれに担当する利用者の支援計画・実践内容およびその結果について7分での口述発表を行う。セクションの座長は各施設長が担当する。

【結果】

3法人合同でのイベントについては、平成27年7月の消防訓練、平成28年2月の管理職研修、3月のスポーツ交流会に留まり、目標の年4回開催は達成できなかった。（特養かがやき事業報告書に掲載）。また、合同学会に関しては、開催を達成できず平成28年度への持ち越しとなった。（平成28年12月開催予定）

５．その他（地域交流センターかがやきの活用状況について）

１）地域交流センターかがやきの目的

地域の皆様、家族間交流の場として地域交流センターを設置。ここでは、介護料理教室や大正琴、ヨガ教室や転倒予防体操、認知症教室など様々なプログラムを実践したいと考えている。 災害時には福祉避難所として地域の皆様の避難施設として使用ができる。

2）設備内容

キッチン	流し台、ＩＨコンロ、冷蔵庫
長机	１５台
椅子	６０脚
カラオケ機材	カラオケ、マイク

3）利用状況

平成２７年度			
月	日	イベント名	主　催　者
5	18	施設見学	お気軽サロン三根
5	27	施設見学	西高田婦人部
7	19	あみ☆スタファッションショー	長崎バリアフリーサークル Ami
9	28	施設見学	にこにこサロン
10	4	メイクショー&メイクレッスン	長崎バリアフリーサークル Ami
10	13	長与町介護支援専門員連絡協議会定例会	長与町介護支援専門員連絡協議会
11	6	ベッドメーカー体験会	長崎シーティング研究会
11	8	絵画教室	平木場自治会　青年部
11	10	長与町介護支援専門員連絡協議会定例会	長与町介護支援専門員連絡協議会
11	28	バリアフリー推進チャリティーイベント ながよ de おしゃれマーケット	長崎バリアフリーサークル Ami
12	10	長与町介護支援専門員連絡協議会定例会	長与町介護支援専門員連絡協議会
12	13	ながよ癒し&おしゃれイベント	長崎バリアフリーサークル Ami
2	9	長与町介護支援専門員連絡協議会定例会	長与町介護支援専門員連絡協議会
3	29	グループホームながよ　花見休憩所として	グループホームながよ

前回理事会でお伝えした地域公益事業の位置付けで開催するノルディックウォーキングについては、５月より毎月第４木曜日に定期開催する事となった。当法人を主催として、また、長与町に後援となってもらい活動を展開していく事が決定した。

ノルディックウォーキング体験会

2016 5.26 6.23 木

9：30-12：00

集合場所　中尾城公園駐車場

ノルディックウォーキングに興味のある方ならどなたでも参加可能

NPO法人 日本ノルディックウォーキング協会 インストラクターが指導します

※5月は3kmコース、6月は6kmコースを予定しています

参加費 無料

お申込み

お申し込みは、裏面の申込み用紙にご記入の上、FAXまたはE-mailで。

社会福祉法人ながよ光彩会
担当：貞松（さだまつ）、前田（まえだ）、香月（かつき）
☎TEL:095-894-5555

主催
社会福祉法人ながよ光彩会

後援
長与町

第36回 ながよヘルシーウォーキング大会

平成28年 6月25日 土曜日

スケジュール

【受付】9：00～9：30
【開会式】9：35～
【スタート】10：00～
【ゴール】～12：00（流れ解散）

〈集合場所〉 中尾城公園駐車場（小雨決行）

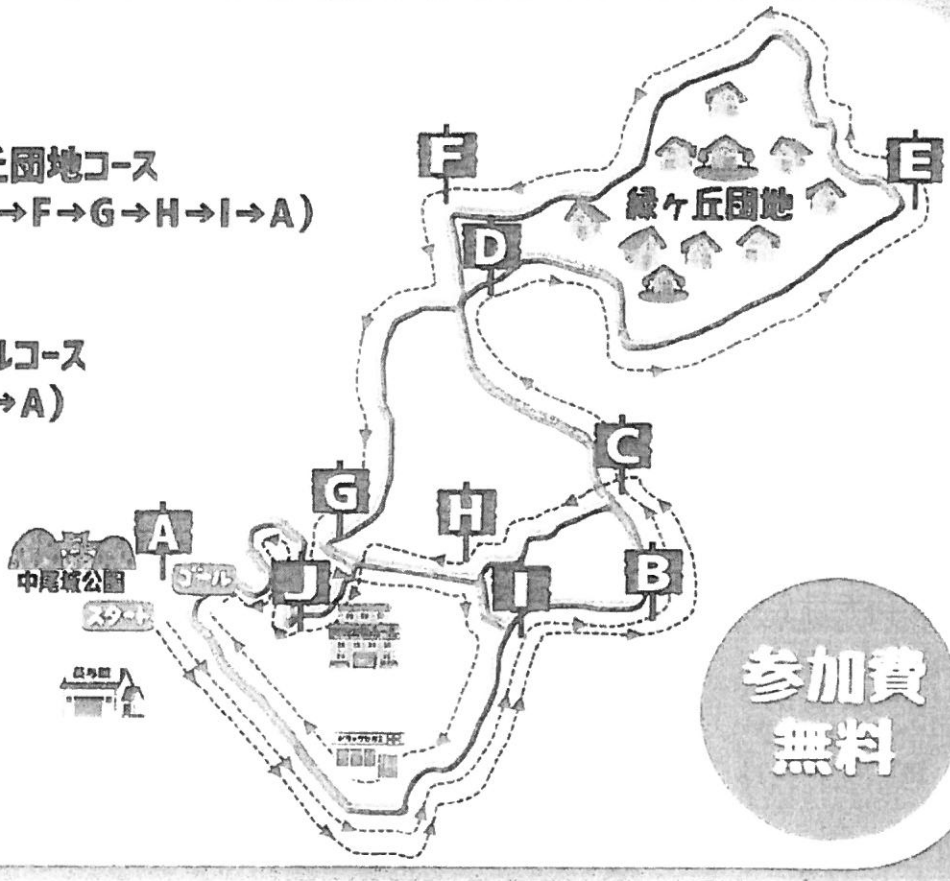
※ヘルシーウォーキングへのベビーカー、ペット同伴での参加はご遠慮ください

6kmコース

帯田→三根→緑ヶ丘団地コース
（A→B→C→D→E→F→G→H→I→A）

3kmコース

帯田→町民文化ホールコース
（A→B→C→H→J→A）



みんなで長与を歩こう！

参加費 無料

主催 長与町役場・健康ながよ21推進専門委員会

共催 長与町健康づくり推進協議会・長与町食生活改善推進員協議会

《お問い合わせ》 長与町役場健康保険課健康増進係 ☎095-801-5820

特定健診は1年に1回必ず受けましょう

平成 27 年度 事業報告	特別養護老人ホーム かがやき ショートステイ かがやき 小規模多機能型居宅介護 かがやき

特別養護老人ホームかがやき
平成27年度　事業報告

≪施設理念≫

安心と穏やかな生活

≪基本方針≫

1、　人としての尊厳を重視し、利用者およびご家族の想いを大切にします
2、　共に暮らす喜びと家庭的な雰囲気をつくります
3、　いつも同じ、なじみの環境をつくります
4、　利用者が安心して穏やかに普通の日常生活を最期まで送れるように支援します
5、　地域にひらかれた交流の場をつくります

≪介護方針≫

1、　専門性に基づいた介護ケアと、医療との連携による看取りケアを実施します
2、　入居者の方が、普通の日常を送れるよう、さりげない介護を実践します
3、　各ユニットの特色を活かし、細やかな支援と個別支援の充実を図ります
4、　在宅生活への復帰を可能な限り支援します
5、　利用者およびそのご家族を支える包括ケアを実践します

≪ユニット理念≫

陽の郷『陽のような暖かさの中で、入居者の方が最期まで穏やかに過ごせるようなユニットをつくります』

彩の郷『一人一人の人生のように、彩のある暮らしを支援できるユニットをつくります』

結の郷『ご家族、地域、利用者を結ぶ架け橋となり、安心して過ごすことのできるユニットをつくります』

ショート『ご利用者様の別荘のように、快適に過ごして頂けるユニットをつくります』

平成２７年度事業計画

1、　キャリアパスに応じた研修
2、　ユニットケアの推進
3、　各委員会の確立
4、　入所稼動率の維持
5、　小規模多機能居宅介護かがやき開設

1、 キャリアパスに応じた研修

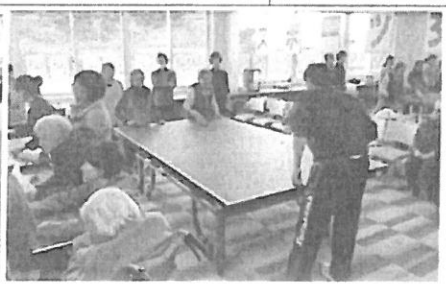
計画・目標

４月	研修参加希望調査実施	全職員対象
経験３年未満	新人職員対象研修の受講	対象者３名
経験３年以上	認知症介護実践者研修受講、 喀痰吸引研修受講（介護福祉士）	各ユニットより１名 対象者４名
経験５年以上	ユニットリーダー研修受講	ユニットリーダー１～２名 （１２月受講予定）
全職員対象	施設内研修会（月１回）	５月より開始予定

○全職員が１年を通して何らかの研修に参加できる体制をつくる。
○研修受講後の振り返り（フィードバック）を施設内での研修会に反映する。
○関連法人での研修会への参加
○外部研修情報の職員への提供
○喀痰吸引研修施設実習の完了を目指す（対象者８名）
○その他、職員が受講希望する研修に対してのサポート

結果・課題

≪施設内研修　実績≫

平成２７年度		
6	各種委員会打ち合わせ	
7	消防訓練：スプリンクラーの実演、その他	長崎ユタカ　様
8	「個別援助技術について」	ケアプランセンター春　　A　様
9	「感染症対策」～嘔吐物処理、手洗い～	西彼保健所　様
10	「事故について」～事故報告書の見直し～	相談員：B
11	消防訓練：避難訓練（昼間想定）	
12	行事：クリスマス会	
1	緊急時対応の確認	看護師：C
2	３法人管理者研修	光彩会本部
3	３法人スポーツ交流会	講師：D
		
	身体拘束・虐待予防について	身体拘束・虐待予防委員会

≪外部研修　実績≫

月	研　修　名	参　加　職　員　名
施設参加		
6	防火管理者講習（甲種）	A
8	ユニットリーダー研修	B
11	地域密着型サービス管理者研修	C
12	身体拘束廃止推進委員養成研修	D
	腰痛予防対策講習会	E,F
	長崎県高齢者虐待防止シンポジウム	G,H
2	喀痰吸引研修	I,J,K,L
個人参加		
7	看取りケア	M
10	看取りケア	N
	長与町・時津町ケア連絡会（事例検討会）	O
11	長与町・時津町ケア連絡会（事例検討会）	P
1	長与町・時津町ケア連絡会（事例検討会）	Q,R
	認知症ケア	S

●職員の人数が安定せず、現場を優先せざるを得なかったため、外部研修への参加が積極的にはできなかった。
●２階フロアからのユニットリーダー研修への参加が出来なかった。
●研修委員会の活動が確立できず、事務からの職員への研修案内はしていたが参加の声かえは不十分だった。
●自己参加の外部研修への参加が少なく、地域で開催されている研修会への積極的な参加も 28 年度の課題となった。
●喀痰吸引研修の実地研修は開始はしたものの完了までには至っておらず、28 年度も引き続き継続となった。

2、 ユニットケアの推進

計画・目標

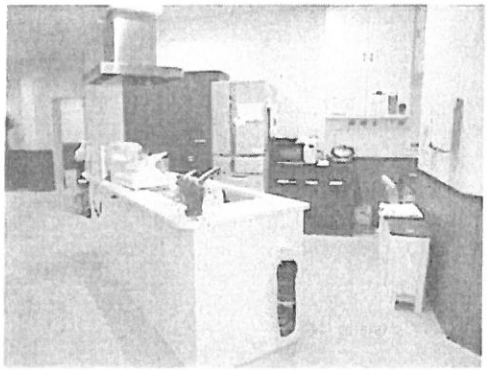
○ユニットリーダーが「ユニットリーダー研修」を受講し（H27.12 月予定）、ユニットケアの理解を深める。
○ユニットケア推進委員会においては、施設長（ユニットリーダー研修受講済）が委員長となり、職員のみならず利用者およびそのご家族の参画も頂きながら、“かがやきのユニットケア”の実現に向けて取り組む。
○居室内やリビングの“しつらえ”について、ユニットごとに計画を立て充実させていく。

結果・課題

●今年度は、ユニットリーダー研修への参加が１名であり、研修への参加人数としては不十分であったが、参加した職員の所属するユニットでは、環境に対する取り組みが始まり、他職員の意識も変わってきている。

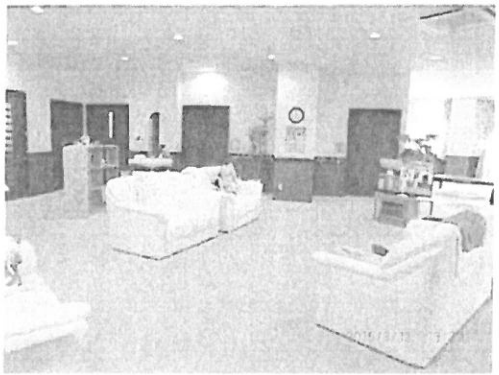
＜研修前＞　　＜研修後＞

①



②

③



④

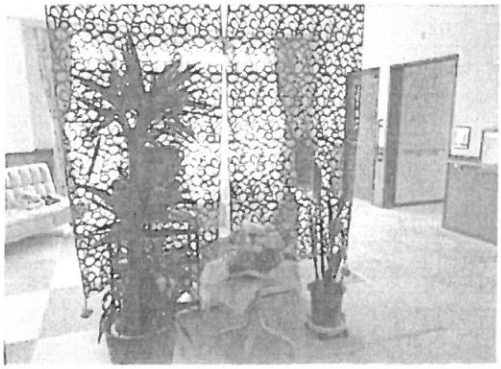
≪研修後≫

⑤

⑥

⑦

⑧



⑨

大きくなりました！

3、 各委員会の確立

計画・目標

＜各種委員会＞

ユニットケア推進委員会	〈構成員〉 ・施設長 ・看護職員（感染症・褥瘡） ・各ユニットより1名ずつ 本部（消防・防災） ○月1回の委員会開催
感染症対策委員会	
事故・リスク・苦情対策委員会	
褥瘡対策委員会	
身体拘束防止委員会	
環境整備・美化委員会	
消防・災害対策委員会	
研修委員会	
行事・ボランティア委員会	
生活機能向上委員会（口腔ケア・排泄・リハビリ）	

○第１回（４月）の各委員会で指針や関連マニュアルの確認を行い、委員会活動の実施に向け準備を行う。

○事故や課題が生じた場合には、委員会こだわらず必要な場合は全職員で対応しながら、各委員会の役割について理解する。

○委員会活動に際し、専門的な指導や地域からの協力を得られるよう積極的な働きかけを行う。

結果・課題

＜各種委員会＞

	委員会名	NS	陽の郷	彩の郷	結の郷	ショート	小規模	委員会開催日
1	感染症対策委員会	職員A	職員D	職員H 職員I	職員L	職員Q	職員V	第1月曜
2	褥瘡対策委員会	職員B	職員E	職員K	職員L 職員N	職員R		第1木曜
3	事故・リスク・苦情対策委員会 身体拘束防止・虐待対策委員会		職員D	職員I	職員N	職員R 職員U	職員X	第4月曜
4	環境整備・美化委員会 生活機能向上委員会	職員B	職員F	職員H 職員J	職員O	職員T	職員Y	第2月曜
5	行事・ボランティア委員会 研修委員会	職員C	職員F 職員G	職員J	職員M	職員T 職員S	職員Z	第3月曜
6	消防・災害対策委員会	職員A	職員G	職員K	職員P	職員U	職員W	第1火曜
7	給食委員会	各ユニットより1名参加						第4金曜

●各種委員会委を設置し、その後再編成を経て、上記の委員会が確立した。活動内容については28年度の課題となるが、27年度では各委員会が毎月1回は会議を開催することは定着することができた。

4、 入所稼動率の維持

計画・目標

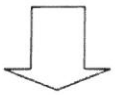
＜特養＞

目標稼動率	96.0 %
設定稼働率	94.0 %
設定平均介護度	4.0

＜ショート＞

目標稼動率	80.0 %
設定稼働率	65.0 %
設定平均介護度	3.0

○日常生活継続支援加算（特養：４６単位）を算定するため、特養の設定平均介護度を 4.0 とする。
○入院による空室を最低限度にするため、関連法人のショートステイとも連携し、特養の入居をスムーズに行う。
○ご家族への状況説明を丁寧に行い、入退居の理解を求める。
○嘱託医と連携し、疾病の早期発見・早期治療に努める。



結果・課題

（１）特別養護老人ホームかがやき　実績

平成２７年度									
月	介護度	介１	介２	介３	介４	介５	合計(名)	稼働率(%)	待機者数(名)
４月	男				2		2	95	12
	女			6	12	8	26		
	平均要介護度	3.9					28		
５月	男				2		2	97	13
	女			6	11	9	27		
	平均要介護度	4.0					29		
６月	男				1		1	91	14
	女			5	12	10	27		
	平均要介護度	4.0					28		
７月	男				1		1	91	16
	女			5	13	9	27		
	平均要介護度	4.1					28		
８月	男				1		1	94	19
	女			5	13	9	27		
	平均要介護度	4.1					28		
９月	男				1		1	96	21
	女			6	14	8	28		
	平均要介護度	4.0					29		
10月	男				1		1	98	25
	女			6	15	8	28		
	平均要介護度	4.2					29		
11月	男				1		1	97	25
	女			6	14	8	27		
	平均要介護度	4.2					28		
12月	男				1	1	2	93	25
	女			6	12	9	27		
	平均要介護度	4.1							
１月	男				1	1	2	91	25
	女			6	11	9	26		
	平均要介護度	4.1							

2月	男	1				1	2	94	27
	女			7	11	9	27		
	平均要介護度	4.0							
3月	男	1				1	2	93	30
	女			7	11	9	27		
	平均要介護度	4.0							

平均稼働率	94.3 %	平均要介護度	4.0

●目標稼働率には到達していないが、開設１年目で設定した稼働率には達することができた。

●稼働率が上がらなかった原因は利用者の入院であるが、入院１週間では退院や判断が困難であり、２週間～１ヶ月の空室をつくることとなった。（入院者：９名）

→この対策として、平成 28 年２月より空床利用の届出をし、入院中の居室の利用を実施している。

（２）ショートステイかがやき実績

平成２７年度										
月	介護度	支１	支２	介１	介２	介３	介４	介５	合計(名)	稼働率(%)
4月	男					1	1		2	46
	女	1			1	3	3		8	
	平均要介護度	3.0							10	
5月	男					1	1	1	3	57
	女			1	1	5	3	1	11	
	平均要介護度	3.3							14	
6月	男					1	1		2	59
	女			1	1	3	4	1	10	
	平均要介護度	3.3							12	
7月	男				1	2		1	4	81
	女			2	2	5	3	1	13	
	平均要介護度	3.0							17	
8月	男				1	1		1	3	87
	女			1	3	4	3	1	12	
	平均要介護度	3.0							15	
9月	男				1				1	67
	女				1	6	2	2	11	
	平均要介護度	3.3							12	

10月	男				1	1			2	65
	女				2	4	3	4	13	
	平均要介護度	3.5							15	
11月	男				1	1			2	81
	女					5	3	5	13	
	平均要介護度	3.8							15	
12月	男				2	2	1	1	6	77
	女			1	1	2	3	3	10	
	平均要介護度	3.6							16	
1月	男				2	2	1		5	83
	女			1		3	3	3	10	
	平均要介護度	3.4							15	
2月	男				1	1	1		3	71
	女			1	1	2	4	2	10	
	平均要介護度	3.3							13	
3月	男			1	1	1	1		4	74
	女			1	3		3	2	9	
	平均要介護度	3.0							13	

平均稼働率	70.3 %	平均要介護度	3.3

●居宅介護支援事業所からのご紹介を多く頂き、順調に稼働率を上げていたが、感染症（疥癬）の発生や、職員の退職に伴い稼働率を低下させる結果となった。（最高稼働率　87%）
●ロング利用者４～５名、定期利用者１０～１３名で１０床を調整できていた。
●特養併設のため、先々での特養入所を考慮し利用する方も多かった。

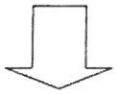
5、 小規模多機能居宅介護かがやき開設について

計画・目標

○平成27年7月1日開設に向けて準備を進めていく。
利用定員24名（通い12名、泊り6名）

目標稼動率	70.0 %
設定稼働率	50.0 %
設定平均介護度	2.0

○訪問機能、リハ強化型での運営を目指す。介護報酬改定において、看護師配置要件の緩和が行われたが、特養入所者での看取り期支援を在宅で実践したいとの意向もあるため、特養とも協議しながら看護師の専任配置を検討する。
また、小規模多機能型居宅介護かがやきのベッド空床利用（短期利用型）の対応については、関連法人の事業所における待機者対応の手段としても検討していく。



結果・課題

●平成２７年７月１日開設したが、職員の配置状況により、利用者の受け入れは８月１日より開始した。

＜稼働実績＞

	登録者数	通い件数	宿泊件数	訪問件数	稼働率
８月	４名	４名 (35 件)	１名 （４件）	３名 (33 件)	16%
９月	７名	６名 （４１件）	３名 （１４件）	６名 (130 件)	29%
10 月	９名	９名 (80 件)	４名 (40 件)	８名 (60 件)	37%
１１月	１０名	８名 (100 件)	４名 （３７件）	６名 （５９件）	41%
１２月	１１名	７名 （８７件）	１名 （２７件）	７名 （６７件）	45%
１月	１２名	７名 （９２件）	３名 （４１件）	６名 （７８件）	50%
２月	１０名	７名 （６５件）	１名 （５件）	７名 （８９件）	41%
３月	１０名	８名 （８０件）	３名 （１７件）	８名 （７９件）	41%
平均	９名	７名 （７２件）	2.5 名 （２３件）	6.3 名 （７４件）	37.5%

●登録者が１０名前後を推移し伸び悩んだ。その一方で、利用者の要望に応えることで、病院や居宅介護支援事業所からの相談が増えてきた。利用に繋がらなくとも、在宅生活を考える上で、サービス事業所のひとつとして相談に応じることができた。
●利用者の希望や要望に臨機応変に対応し、小規模多機能の特色を職員が理解できた。
●小規模かがやきの特色を作ることができなかったので、28 年度の課題となった。

6、その他

（1）職員動態（27年度入）　特養・ショート・小規模

		介護職（相談員・介護支援専門員含む）		看護職 機能訓練		栄養・厨房		事務	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
2月	採用数	19	3	3	1	3		2	
	退職数								
3月	採用数	1							
	退職数								
4月	採用数	2					1		
	退職数	5							
5月	採用数	3	1						
	退職数	1							
6月	採用数		2				1		
	退職数								
7月	採用数	1							
	退職数								
8月	採用数	1						1	
	退職数							1	
9月	採用数								
	退職数								
10月	採用数	1							
	退職数								
11月	採用数								
	退職数								
12月	採用数						1		
	退職数						1		
1月	採用数								
	退職数	2				1			
2月	採用数								
	退職数								
3月	採用数	1	1						
	退職数	2							

開設～平成27年度末 採用者合計	51名
退職者合計	13名

※平成28年5月現在も職員募集中。